

# のびのび通信 第63号

2011年3月

## 人数増えてもへっちら！ボウリング大好き

3月の定番活動になりました「ボウリング」。思い出せば、はじめてのボウリングは、自分のボールを見失わないようにみんな膝のうえにボールを抱えていました。順番を間違わないように、みんなスコアボードを注目して、人のプレイを見る余裕なんてありませんでした。それでも、楽しかったんです、ボウリングが。だから、毎年、この3月が来るのが待ち遠しかった(?)。今では、人のプレイを応援しながら、自分のプレイにも集中して、みんなで楽しめるスポーツに発展しています。



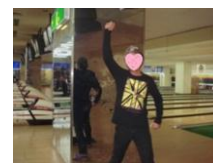
「のびのび」では、全国でも著名な先生方をお招きして講演会を開いていますが、中でも佐々木正美先生の場合は、反響が大きかったことが忘れられません。その

佐々木正美先生ご推薦のスポーツが、ボウリングなんです。そのアドバイスをいただく前から、ボウリングをすると子どもたちの目が輝いていることに気づいていました。が……。



ボウリングは、有酸素運動としての効果だけでなく、他の球技で求められるようなコミュニケーションが不要で、自分のペースでできるスポーツとして、成功体験を導きやすいものだそうです。そして、教えるべきルールもあって、スキルアップにもモチコイなんです。

でも、回を重ねるうちに、ボウリング本来の楽しさを理解し、今では、ストライクを出せばハイタッチしたり、ガータを出してもドンマイと声をかけ、仲間意識たっぴりにこのスポーツを楽しんでいます。



そこには、支援マニュアルにとらわれるだけでなく、大人も子ども達と一緒に楽しむことに徹していることも大きいのかもしれません。笑顔と笑い声の絶えないボウリングデイでした。



見てください！

はじめてのボウリングでは、ここのボールがたまることはありませんでした。でも、今では、みんなのボールが並んでいます。そして、順番が来ると「ハイ。○○ちゃんのボール」と渡してくれることも……。

【編集後記】 この3月の活動で、22年度の支援活動も終了です。

そこで、反省会議を兼ねて、プチ食事会を開きました。想像したメニューよりも大盛りにみんなビックリ！そして、飲み物は自分でオーダーします。この選択スキルも大切なソーシャルスキルなんです。自立のためのスキルを学ぶ場面は、日常生活の中にもたくさんあるってことですね。

